

# 平成30年度全国学力・学習状況調査の結果の分析及び活用について

学校名	伊勢原市立桜台小学校
-----	------------

## 1 調査結果の分析及び考察

	特長	課題
国語	<p>【A問題】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「話す・聞く」領域では内容を的確にとらえている児童が多い。</li> </ul> <p>【B問題】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・A問題同様、「話す・聞く」領域における、話し合いの内容はよく理解できている。</li> </ul>	<p>【A問題】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・慣用的な文章の書き方や漢字の使い方に気をつけて文章を書くこと。</li> </ul> <p>【B問題】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・目的や意図に応じた文章を書くこと。</li> </ul>
算数	<p>【A問題】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「数と計算」「量と測定」領域など単純比較や簡単な計算で回答が得られる内容については、正答率が高い。</li> </ul> <p>【B問題】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・規則性を見出し、的確に回答できる。</li> </ul>	<p>【A問題】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・単体量や比例など数量関係を問う問題や複数のデータを読み解くこと。</li> <li>・状況把握をしながら問題解決すること。</li> <li>・分度器の目盛りの読み方。</li> </ul> <p>【B問題】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・グラフと他の情報を関連付けてとらえること。</li> </ul>
理科	<ul style="list-style-type: none"> <li>・5年生の学習内容について直近で経験しているもので正答率が高い。</li> <li>・実験方法や実験方法の構想について多くの児童が理解している。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・回路を流れる電流の流れ方や太陽電池の効果的な使い方。</li> <li>・実験結果を基に考察し、その内容を適切に書き表すこと。</li> </ul>
質問紙	<p>学校のきまりを守り、家で学校の宿題をしているという回答が多かった。真面目さが窺える。「いじめはどんなことがあってもいけない。」という内容については、「そう思わない。」という回答は0%であり、この点は大いに評価したい。</p>	<p>自己肯定感や学習への意欲がやや低く、社会的関心や参加意識、読書などへの意欲が低いという回答が目立った。放課後や休日の過ごし方では「ゲームやインターネットで。」という回答が県・全国平均よりも高い傾向が見られた。</p>

### 2① 授業の充実に向けた重点的な取組

<p>【国語】</p> <p>「読むこと」については長い物語や説明文は章や段落ごとに提示して読むことへの抵抗を少しでも小さくするなど、ボトムアップへ向けたスモールステップの学習活動も取り入れていく。「話す・聞く」は引き続き意識的に取り組み、その力を一層磨いていく。漢字の使い方や適切な文章表記の仕方が身につくよう「書くこと」の技能面にも重点を置いた取り組みを行う。辞書を引く機会を増やす。</p> <p>【算数】</p> <p>筋道を立てて考える課題や複数の知識や技能を活用する課題に取り組む際に、個人やグループで考える機会を取り入れる。また思考過程が明確になるよう図や表、言葉に表すことを意識した学習活動も取り入れる。</p> <p>【理科】</p> <p>予想から実験方法を考え検証する学習や体験的な学習を取り入れる。実験の過程をわかりやすくレポートにまとめるようにする。</p> <p>【共通】</p> <p>従来から取り組んでいる授業内容の振り返りとしての書く活動を様々な教科で行う。読書や社会への関心を高めるため、授業でテーマを持たせた取り組みを行う。これらの学習活動を低学年から意識して取り組むよう、校内で共通理解を図る。</p>
---

### 2② 家庭(地域)への発信内容(協力依頼事項) ※家庭で取り組んでほしい内容や地域の方に知っておいてほしい内容

<p>今回の調査を通して、家で学校の宿題をし、家の人と学校での出来事について話すなど家庭での生活の様子が伝わってきました。また、学校のきまりを守ろうとする意識も高いことが窺えました。</p> <p>○毎日同じくらいの時刻に就寝起床し睡眠時間を確保する規則正しい生活をお願いします。</p> <p>○学校での指導とともに、読書時間の確保をお願いします。</p> <p>○ゲームやインターネットの利用について、ご家庭でルールを決めて楽しめるようお願いします。</p> <p>今後も子どもたちの健やかな育ちに向けて家庭と学校が連携して生活習慣を見直していけるようご協力をお願いします。</p>
---